

活 用 事 例	愛知県豊橋市立牛川小学校	鈴木康弘校長
活用事例タイトル	わっしょい！！ 作ろう, 牛川囃子	
対象授業科目/活動	音楽	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	<p>【単元名】 わっしょい！！ 作ろう, 牛川囃子</p> <p>【授業者】 日恵野祥未教諭</p> <p>【対象学年】 小学3年</p> <p>【ICT 使用場面】</p> <p>子どもたちは、3年生になってから始めたリコーダーで、楽譜を見ながら、演奏ができるようになってきた。前題材では、いくつかの音を選びながら、リコーダーを使って旋律づくりを行った。</p> <p>本題材では、どのようなお囃子にするのかについて思いや意図をもち、お囃子の特徴や音楽の仕組みを考えながら、旋律づくりに取り組む。本時では、一人一人が作ったお囃子をグループでつなげていく。グループで組み合わせた旋律にくり返しを入れたり、旋律のつづく感じや終わる感じをとらえたりして、まとまりのある旋律にする。再考する前に、プロジェクタで代表のグループのお囃子をホワイトボードに映し、旋律の特徴を聴き比べる。全体で考えたことがグループ活動で生かされるように、グループごとにコンピュータの楽譜作成ソフトを使って楽譜を編集する。そして、再考した後には、前時での旋律と聴き比べ、自分たちのお囃子のまとまりを感じ取らせたい。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>【単元のねらいと目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国や郷土のお囃子に関心をもち、音楽の仕組みを生かしながら、思いや意図をもってお囃子を作る学習にすすんで取り組もうとしている。 (音楽への関心・意欲・態度) ・ お囃子の旋律の特徴を感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、どのようなお囃子をつくるかについて自分の思いや意図をもっている。 (音楽表現の創意工夫) ・ お囃子の旋律の特徴や音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるお囃子を作ることができる。 (音楽表現の技能) ・ 我が国や郷土のお囃子の速度やリズム、旋律などの特徴を感じ取って聴いている。 (鑑賞の能力) 	

1 題材名 わっしょい！！ 作ろう，牛川囃子（本時8／10）

2 題材の目標

- ・ 我が国や郷土のお囃子に関心をもち、音楽の仕組みを生かしながら、思いや意図をもってお囃子を作る学習にすすんで取り組もうとしている。（音楽への関心・意欲・態度）
- ・ お囃子の旋律の特徴を感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、どのようなお囃子をつくるかについて自分の思いや意図をもっている。（音楽表現の創意工夫）
- ・ お囃子の旋律の特徴や音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるお囃子を作ることができる。（音楽表現の技能）
- ・ 我が国や郷土のお囃子の速度やリズム、旋律などの特徴を感じ取って聴いている。（鑑賞の能力）

3 題材の構想 10時間完了（※支援・留意点 ◆ICT活用）

常時活動 ・リズムフラッシュカード ・音楽命令ゲーム	お囃子ってなんだろう ①	○ さまざまな地域のお囃子を聴く 鑑賞『祇園囃子』（京都）『神田囃子』（東京）『牛川のお囃子』 ・お祭りに行ったときに聴こえてくるよ ・太鼓や笛の音がきこえるよ ・速いお囃子もあるけど、ゆったりとしているお囃子もあるんだね ・牛川のお囃子は、いつもお祭りの前に練習しているからよく知ってるよ	◆ リズム読みや音の変化を言語化できるようにするために、授業の導入でパワーポイントを使ったゲームを取り入れる。【くり返し・定着】 ◆ お囃子がより身近に感じられるように、録音しておいた地域のお囃子を聴く。 【情報共有】 ※ お囃子がうまく作れない際には、お祭りのイメージをリズムに置き換えるようにする。 ※ お囃子で使う音を鍵盤で示したり、比較演奏したりして、旋律の特徴である5音音階に気づかせる。 ※ 個人で作ったお囃子をつなげたり、話し合いしたりしやすいように、3人1組のグループに構成する。 ◆ まとめたお囃子を修正しやすく、見やすくするために、コンピュータの楽譜作成ソフトを使う。【表現・説明】 ※ 目的意識をもって取り組めるように、完成したお囃子を発表する場を設定する。
	ぼくたちのお囃子を作ってみよう ⑤	○ お祭りのイメージを絵や言葉で表す① ・ぼくは、太鼓がドンドン響いているイメージかな ・私は、にぎやかなお祭りのお囃子にしたいな ○ イメージをもとにして、お囃子を作る② ・太鼓のリズムにリコーダーの音を合わせたら、お囃子みたいになったよ ・にぎやかなお囃子にしたいけど、音をたくさん使っただけで、なんかイメージとちがうなあ ・お囃子のメロディーは、使う音が決められているんだね ○ 自分の作ったお囃子を、2小節の楽譜に表す② ・ぼくのお囃子ができたよ ・友達のお囃子と合わせてみたいな	
	ぼくたちのお囃子をまとめよう ④（本時2／4）	○ 自分が作ったお囃子をグループで組み合わせて、8小節のお囃子にする① ・最初の2小節は、誰の旋律にしようかな ・残りの2小節は、この旋律をもう1回使おうよ ○ グループのお囃子をまとまりのあるお囃子にする①（本時） ・くり返しを入れると、まとまって聴こえるね ・最後の音をレにすると、終わった感じになるね ○ 太鼓のリズムに合わせて、3の1のお囃子に仕上げる② ・他のグループのお囃子と重ねてリコーダーで吹いても、楽しいね ・太鼓のリズムが入ると、盛り上がるね ・「わっしょい」みたいなかけ声も入れてみよう	

ぼくたちが作った牛川囃子の完成！みんなにきいてほしいな



4 本時の授業について

子どもたちは、3年生になってから始めたリコーダーで、楽譜を見ながら、演奏ができるようになってきた。前題材では、いくつかの音を選びながら、リコーダーを使って旋律づくりを行った。

本題材では、どのようなお囃子にするのかについて思いや意図をもち、お囃子の特徴や音楽の仕組みを考えながら、旋律づくりに取り組む。本時では、一人一人が作ったお囃子をグループでつなげていく。グループで組み合わせた旋律にくり返しを入れたり、旋律のつづく感じや終わる感じをとらえたりして、まとまりのある旋律にする。再考する前に、プロジェクタで代表のグループのお囃子をホワイトボードに映し、旋律の特徴を聴き比べる。全体で考えたことがグループ活動で生かされるように、グループごとにコンピュータの楽譜作成ソフトを使って楽譜を編集する。そして、再考した後には、前時での旋律と聴き比べ、自分たちのお囃子のまとまりを感じ取らせたい。

(1) 目 標

- ・ 自分たちのお囃子を、くり返しや旋律のつづく感じや終わる感じを意識したまとまりのある旋律にすることができる。

(2) 準 備：PC（10台+教師用）、プロジェクタ、ホワイトボード（板書用・投影用）、録音機器

(3) 展 開

時間	学習活動	※支援・留意点	◆ICT活用	☆評価（方法）
10	<p>1 代表グループのお囃子から音楽の構成を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">友達のグループのお囃子を聴いてみよう</div> <p>6班</p>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上の段と下の段は同じだよ ・ 2・3小節目と6・7小節目が同じだよ ・ 1・5小節目は、 の同じリズムだね </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終わる感じがしたよ ・ 最後の音をレにすると、終わった感じになるね ・ 休符を入れたら、終わった感じにならないかな </div> <p>※リコーダーの演奏をきいてみて、どこにくり返しや似ているところがあるのかを気づかせる。</p>		<p>◆注目するところがわかるように、プロジェクタを使って楽譜を映し、ホワイトボードに印をつける。</p>	<p>【課題提示】</p>
20	<p>2 自分たちのお囃子をグループごとに再考する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">自分たちのお囃子を見直そう</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">  <p>私たちのグループにも、くり返しを入れよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>A君とBさんのお囃子が同じリズムだから、1・2小節目と5・6小節目に入れよう</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">  <p>最後が終わった感じにするには、どうしたらいいかな</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>じゃあ、最後の音をレにかえれば、終わる感じになるんじゃないかな 1回試しに吹いてみよう</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">  <p>まとまりのあるお囃子になったよ 楽譜に書きこもうよ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>楽譜で見ると、くり返しているところがよくわかるね</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div>		<p>※各グループの修正箇所を明らかにするために、前時に作った旋律をもとに、どこをどのように直すかを話し合ってから、リコーダーを吹きながら修正する。</p> <p>※修正箇所がわからないグループには、代表グループのお囃子の楽譜と見比べながら、教師が助言をする。</p>	<p>◆楽譜作成ソフトの電子音で確認しながら、再考したお囃子を修正しやすくするために、3人で1台のPCを使って楽譜を保存する。 【課題解決】</p> <p>◆再考したお囃子が視覚的にも実感できるようにするため、修正した楽譜をプロジェクタで映して確認する。</p> <p>【表現・説明】</p>
40	<p>3 再考したお囃子を全員で聴き比べて振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">まとまりのあるお囃子になったかな</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後が終わった感じに聴こえたよ ・ くり返しがあると、お囃子がまとまって感じるね ・ 他のグループのお囃子も聴いたり、吹いたりしてみたいな 		<p>◆変化がわかりにくい時は、前時に録音しておいたお囃子と、今日のお囃子を聴き比べる。 【ふり返し】</p>	<p>☆曲のまとまりを考えて、グループでお囃子を作ることができたか。</p> <p>(活動の様子、ふり返し)</p>